

第8章 関連文化財群

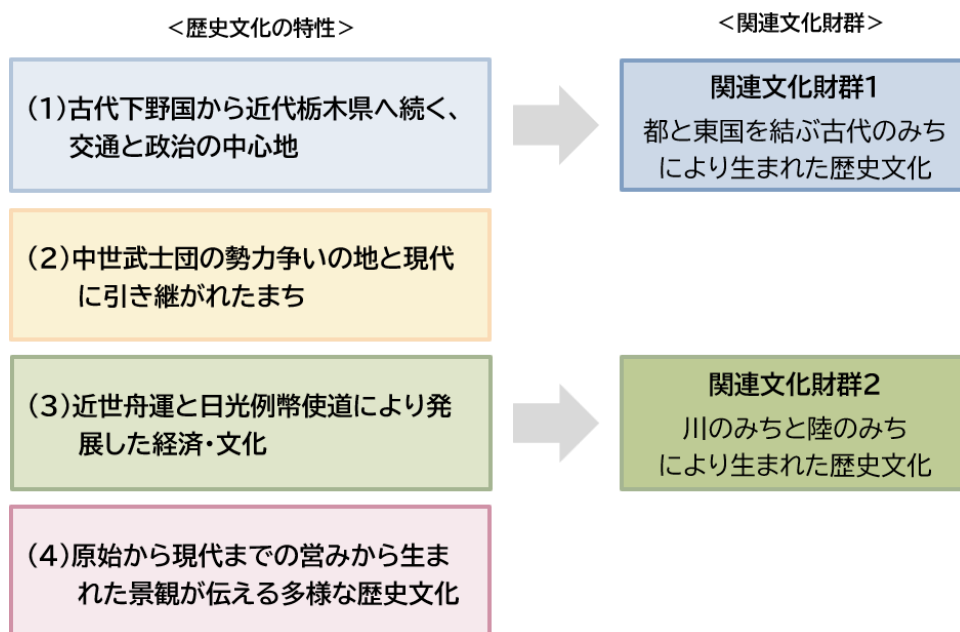
1. 関連文化財群の設定の考え方

関連文化財群とは、多種多様な「栃木市の宝」を歴史文化に基づくストーリーによって一定のまとまりとして捉えたものです。まとまりとして扱うことで、未指定の「栃木市の宝」についても構成要素としての価値づけが可能となります。

また、複数の「栃木市の宝」を総合的・一体的に保存・活用することで、本市の歴史文化やそれらの価値を分かりやすく市民に伝えることを目的とします。

地域計画は、本市の歴史文化の特性のうち、2つの歴史文化の特性に基づいて1つずつの関連文化財群を設定し、将来像の達成に向けて、「栃木市の宝」のつながりを活かした保存・活用の取組みを行います。

歴史文化の特性に基づく関連文化財群は、今後も検討を重ねながら必要に応じて設定します。



2. 関連文化財群1 “都と東国を結ぶ古代のみちにより生まれた歴史文化”

(1)概要

関連文化財群の名称		
都と東国を結ぶ古代のみちにより生まれた歴史文化		
関連文化財群の概要		
古代律令国家のもと、全国は約60の国に分かれており、その1つの下野国の中心である「下野国府」が本市に存在したことが明らかになっています。 下野国府は「東山道」を通して都と密接なつながりがあり、地方政治の拠点として、また、東北への出入り口として重要でした。 古代のみち「東山道」を通じてもたらされたものが、栃木市の宝として各地に残っています。		
関連文化財群のストーリー		
古代のみち「東山道」は下野国府の傍を通っていたと考えられ、下野国府の正庁である下野国庁跡の発見を機に、古代道路跡が栃木県内で何カ所も発見され、東山道の推定ルートはほぼ確定しています。 推定ルート上に位置する「畳岡遺跡」は瓦が多く見つかったことなどから、下野国内にあった駅家のうち三鴨駅家の可能性があります。 東山道に駅家が整備され、公用の移動や物資の輸送に利用されて、人や物資の往来が活発になりました。下野国府は都と東国を結ぶ東山道の主要な中継地点で、地方政治の中核として、また経済・文化の中心として重要な役割を果たしました。 下野国府に関わる生産遺跡として、本市に三轟山麓窯跡群、大前製鉄遺跡群が残り、前者は下野国府・下野国分寺などに瓦を供給しており、当時の政治・経済・技術を知るうえで重要な遺跡です。 東山道により、下野国に新たな信仰も伝わりました。 平安時代につくられた法令集の「延喜式」に、官社である神社が記載されており、下野国に11社あるうち、大神神社・大前神社・村檜神社は現在の本市域にありました。 また、平安時代は唐から新たな仏教が伝わり、鑑真の弟子道忠は現在の大慈寺を拠点とし布教活動を行い、天台宗を開いた最澄とも交流がありました。道忠の弟子の中から後に天台宗座主を務める高名の僧が出ており、その中に慈覚大師円仁がいます。 各神社とも当時の役割は終えていますが、氏子により現在も信仰され祭礼が行われています。 大慈寺も天台宗の古刹で、県内でも有数の寺院として連綿と続いています。 古代のみち「東山道」からもたらされた歴史文化が市域各地に見られ、今の栃木市を特徴づけています。		
構成する「栃木市の宝」一覧		
「栃木市の宝」の名称	類型	指定等
金銅誕生釈迦仏立像	有形文化財（美術工芸品（工芸品））	市指定
万葉歌碑	有形文化財（美術工芸品（歴史資料））	市指定
下野国府跡出土品	有形文化財（美術工芸品（考古資料））	未指定
下野国庁跡	記念物（遺跡）	国指定

「栃木市の宝」の名称	類型	指定等
下野惣社（室の八嶋） しもつけそうじやむろ やしま	記念物（遺跡）	市指定
日枝神社 ひえ	記念物（遺跡）	市指定
権現宮遺跡 ごんげんぐう	記念物（遺跡）	市指定
白山神社遺跡	記念物（遺跡）	市指定
華厳寺跡	記念物（遺跡）	市指定
慈覚大師誕生の地	記念物（遺跡）	市指定
慈覚大師御母公墓	記念物（遺跡）	市指定
宮目神社 みやめの	記念物（遺跡）	未指定
大神神社	記念物（遺跡）	未指定
大前神社	記念物（遺跡）	未指定
村檜神社	記念物（遺跡）	未指定
大慈寺	記念物（遺跡）	未指定
下野国府跡	埋蔵文化財	未指定
壘岡遺跡	埋蔵文化財	未指定
三嶋山麓窯跡群	埋蔵文化財	未指定
大前製鉄遺跡群（A～K 地点）	埋蔵文化財	未指定
東山道	埋蔵文化財	未指定
深沢窯跡	埋蔵文化財	未指定
小山氏所領名「古国府」	その他の文化財（史話・伝承、地名）	未指定
小山氏所領名「大光寺」	その他の文化財（史話・伝承、地名）	未指定
小山氏所領名「惣社敷地」	その他の文化財（史話・伝承、地名）	未指定
小山氏所領名「宮目社」	その他の文化財（史話・伝承、地名）	未指定
小山氏所領名「大塚野」	その他の文化財（史話・伝承、地名）	未指定
手洗窪と円仁誕生伝説	その他の文化財（史話・伝承、地名）	未指定

（2）課題

◇ 課題1 古代のみち東山道に関連する「栃木市の宝」の現況調査や詳細調査が不十分である

東山道は、下野国と都を結ぶ重要な幹線道路であり、東山道に関連する「栃木市の宝」は本市の成り立ちや発展を理解する上で重要です。しかし、それらについて、断片的な調査にとどまっており、現況調査や詳細調査が十分ではありません。

今後は、現況調査や詳細調査を進め、東山道に関連する「栃木市の宝」の情報の充実と整理が必要です。

◇ 課題2 古代のみち東山道に関連する「栃木市の宝」を知る機会が必要である

下野国庁跡は、今後、再整備を検討し、保存・活用を進める計画ですが、下野国府跡とその周辺の「栃木市の宝」や、東山道沿いに残る各地域の「栃木市の宝」は、認知度が低い状況です。また、東山道と関連する「栃木市の宝」の存在や役割について、市民や来訪者が触れ、学ぶ機会が十分ではありません。

調査・研究成果の公開や展示の充実により、東山道に関連する「栃木市の宝」への理解を深め、地域への誇りの醸成や、次世代への継承につなげることが求められています。

◇ 課題3 古代のみち東山道に関連する「栃木市の宝」の活用が不十分である

東山道に関連する「栃木市の宝」は、下野国庁跡の整備による公開を含め、十分な活用がされていません。そのため、これら「栃木市の宝」が内包する学びの場、まちづくり、観光振興などの可能性を発揮できていません。

今後は、東山道に関連する「栃木市の宝」を結び、新たな活用により生かすことができる取組みをする必要があります。

(3)方針

◇ 方針1 古代のみち東山道に関連する「栃木市の宝」の現況調査や詳細調査を進める

古代のみち東山道に関連する「栃木市の宝」や本市域の東山道推定ルートなどについて、現況調査や詳細調査を計画的に進め、情報を充実していきます。得られた調査・研究成果は市民や来訪者に分かりやすく伝えるための基礎資料として活かすとともに、適切な保存・活用を目指します。

◇ 方針2 古代のみち東山道に関連する「栃木市の宝」を知る機会を充実させる

市民や来訪者が東山道に関連する「栃木市の宝」の価値や歴史的背景を理解できる機会を充実します。下野国庁跡の再整備と併せて、周辺に点在する関連する「栃木市の宝」を結び、分かりやすく発信することで、来訪者が古代下野国の姿を一体的に理解できる環境を整えます。

◇ 方針3 古代のみち東山道に関連する「栃木市の宝」の新たな活用を検討する

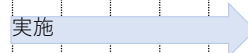
下野国庁跡の再整備と併せ、下野国府跡一帯と東山道に関連する「栃木市の宝」を結びつけた活用をすることで、その価値はより高まります。

今後は、東山道に関連する「栃木市の宝」が内包する学びの場、まちづくり、観光振興などにつながる新たな活用を検討し、取り組みます。

(4)措置

◇ 方針1 古代のみち東山道に関連する「栃木市の宝」の現況調査や詳細調査を進める

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028			後期 2029～2033						
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
1	下野国府跡及び関連する「栃木市の宝」の調査・研究 下野国府跡の再整備事業と併せて、下野国府と東山道に関連する「栃木市の宝」の一体的な保存・活用を目指すために、他地域の国府先進調査事例を参考に調査・研究を進める。	新規	行政（文化課）										



◇ 方針2 古代のみち東山道に関連する「栃木市の宝」を知る機会を充実させる

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間										
				前期 2026～2028						後期 2029～2033				
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15			
2	下野国庁跡資料館の展示の充実 展示リニューアルを行い、下野国府と他の東山道関連の「栃木市の宝」について、新たな調査・研究成果の反映や展示資料の充実を図り、子ども・若者、市民全体が「栃木市の宝」への理解・関心等を深める機会をつくる。	新規	行政（文化課）									実施		

◇ 方針3 古代のみち東山道に関連する「栃木市の宝」の新たな活用を検討する

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間										
				前期 2026～2028						後期 2029～2033				
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15			
3	下野国府跡を活用したイベントの実施（拡充） 市内外を問わず、民間と協働し、古代のみち東山道と下野国府を活用したイベントなどソフト事業を実施する。	継続	行政（文化課） 民間									継続・拡充		

3. 関連文化財群2 “川のみちと陸のみちにより生まれた歴史文化”

(1)概要

関連文化財群の名称		
川のみちと陸のみちにより生まれた歴史文化		
関連文化財群の概要		
現在の本市の町並みや景観は近世の舟運と日光例幣使道による物資の流通から生まれました。 農村部の生産物を商品として江戸と交易する問屋業が盛況となり、本市は物資の集散地として発展しました。 当時から残る見世蔵などの歴史的建造物は現在のとちぎの蔵の町並みをつくり、人・物の交流から生まれた文化は現在まで引き継がれています。		
関連文化財群のストーリー		
江戸時代、河川の整備により渡良瀬川・巴波川を利用した舟運が盛んとなり、江戸を通じて物資の集散地として本市は発展しました。 米・木材など農村部で生産されたものを出荷し、特に麻の生産が盛んで、麻問屋が多くあり、その他、荒物・肥料等の問屋が通りに面して建ち並び、当時の見世蔵・木造店舗・土蔵等の多くが現存し現在のとちぎの町並みをつくっています。 巴波川の舟運は藤岡地域の部屋・新波河岸と栃木地域の栃木河岸の間で行われ、部屋・新波で渡良瀬川を利用して運搬する大舟と積み替えをしていました。 巴波川の舟運は鉄道やトラック等の輸送に伴い、衰退し昭和時代に完全に役目を終えました。 現在は巴波川沿いにあったかつての問屋が、塚田歴史伝説館や横山郷土館などの観光施設となり、護岸工事によって整備された河岸跡とともにまちの景観の一部となっています。 物資の流通は日光例幣使道も利用して行われました。 朝廷からの使者が日光東照宮へ参拝するために整備されたこの道は、使者などの参拝者が道中に休息するために道沿いに多くの宿がつくられ、市域に富田宿・栃木宿・合戦場宿・金崎宿の宿跡が残っています。 日光例幣使道は江戸幕府の終わりと同時に役割を終えましたが、旧道や主要道として現在も残り、本陣・脇陣を務めた旧家に日光例幣使道に関する資料が残っています。また、道沿いに残る道しるべや信仰対象の石造物が当時の面影を今に伝えています。 遠隔地との物資の流通は、人・物の交流から文化の往来をもたらし、現在のとちぎ秋まつりの要となる山車巡行や各地域固有の祭礼がこの頃から行われるようになりました。 川のみち「巴波川の舟運」と陸のみち「日光例幣使道」により生まれ、現代に継承された町並みや伝統は、本市の歴史文化を表す大切な「栃木市の宝」です。		
構成する「栃木市の宝」一覧		
「栃木市の宝」の名称	類型	指定等
古久磯提灯店見世蔵	有形文化財（建造物）	県指定
旧田村家見世蔵	有形文化財（建造物）	市指定
善野家土蔵（通称おたすけ蔵）	有形文化財（建造物）	市指定

「栃木市の宝」の名称	類型	指定等
栃木高校講堂	有形文化財（建造物）	国登録
栃木高校記念図書館	有形文化財（建造物）	国登録
横山郷土館店舗及び住居	有形文化財（建造物）	国登録
横山郷土館麻蔵	有形文化財（建造物）	国登録
横山郷土館文庫蔵	有形文化財（建造物）	国登録
横山郷土館離れ	有形文化財（建造物）	国登録
栃木高校記念館（旧栃木尋常中学校栃木分校本館）	有形文化財（建造物）	国登録
大島肥料店店舗	有形文化財（建造物）	国登録
岡田家住宅翁島別邸主屋	有形文化財（建造物）	国登録
岡田家住宅翁島別邸土蔵	有形文化財（建造物）	国登録
下野新聞社栃木支局	有形文化財（建造物）	国登録
山本有三ふるさと記念館北棟	有形文化財（建造物）	国登録
山本有三ふるさと記念館南棟	有形文化財（建造物）	国登録
だい に 大二商店店舗	有形文化財（建造物）	国登録
こう こ いちばん 好古壹番館（旧安達呉服店店舗）	有形文化財（建造物）	国登録
おとちほう 綿 忠 はきもの店店舗	有形文化財（建造物）	国登録
佐藤家住宅店舗	有形文化財（建造物）	国登録
関根家住宅店舗	有形文化財（建造物）	国登録
関根家住宅主屋	有形文化財（建造物）	国登録
関根家住宅文庫蔵	有形文化財（建造物）	国登録
い か は た あらものてん 五十畑荒物店店舗	有形文化財（建造物）	国登録
中田家住宅店舗	有形文化財（建造物）	国登録
が しゅう 雅 秀 店舗	有形文化財（建造物）	国登録
まるきん 丸三家具店店舗	有形文化財（建造物）	国登録
毛塚紙店店舗	有形文化財（建造物）	国登録
塚田家住宅旧主屋	有形文化財（建造物）	国登録
塚田家住宅板塀	有形文化財（建造物）	国登録
塚田家住宅文庫蔵	有形文化財（建造物）	国登録
塚田家住宅旧米蔵	有形文化財（建造物）	国登録
塚田家住宅銘木蔵	有形文化財（建造物）	国登録
塚田歴史伝説館展示館	有形文化財（建造物）	国登録
塚田歴史伝説館事務室、売店及び休憩所	有形文化財（建造物）	国登録
塚田歴史伝説館人形山車・銘木展示館（旧荷蔵）	有形文化財（建造物）	国登録
あぶらでん 油 伝味噌文庫蔵	有形文化財（建造物）	国登録
油伝味噌東蔵	有形文化財（建造物）	国登録
油伝味噌中蔵	有形文化財（建造物）	国登録
油伝味噌離れ	有形文化財（建造物）	国登録
あまがいは 天海家住宅店舗	有形文化財（建造物）	国登録
天海家住宅主屋	有形文化財（建造物）	国登録
天海家住宅土蔵	有形文化財（建造物）	国登録
野口栄三商店店舗及び主屋	有形文化財（建造物）	国登録
野口栄三商店土蔵	有形文化財（建造物）	国登録
舘野家住宅店舗	有形文化財（建造物）	国登録
舘野家住宅主屋	有形文化財（建造物）	国登録
舘野家住宅鼻緒蔵	有形文化財（建造物）	国登録
櫻井肥料店店舗	有形文化財（建造物）	国登録
櫻井肥料店主屋	有形文化財（建造物）	国登録
櫻井肥料店文庫蔵	有形文化財（建造物）	国登録

「栃木市の宝」の名称	類型	指定等
櫻井肥料店煉瓦蔵	有形文化財（建造物）	国登録
下都賀酒造協同組合事務所	有形文化財（建造物）	国登録
旧足利銀行栃木支店	有形文化財（建造物）	国登録
油伝味噌店舗兼主屋	有形文化財（建造物）	国登録
小根澤家長屋東棟	有形文化財（建造物）	国登録
小根澤家長屋西棟	有形文化財（建造物）	国登録
念仏橋	有形文化財（建造物）	未指定
栃木町道路元標	有形文化財（美術工芸品（歴史資料））	市指定
徳川斉昭筆 袋戸書（二面对）箱書付 附「水戸公親題璽章」（坂倉重平家文書N o.2890）4点	有形文化財（美術工芸品（歴史資料））	市指定
私領傍示杭【合戦場】	有形文化財（美術工芸品（歴史資料））	未指定
宝暦9年栃木町絵図	有形文化財（美術工芸品（歴史資料））	未指定
天明7年栃木町絵図	有形文化財（美術工芸品（歴史資料））	未指定
天保8年栃木町並栃木統新田村々絵図	有形文化財（美術工芸品（歴史資料））	未指定
天保13年嘉右衛門新田村絵図	有形文化財（美術工芸品（歴史資料））	未指定
弘化2年嘉右衛門新田村平柳村絵図	有形文化財（美術工芸品（歴史資料））	未指定
天保7年小平柳村川東絵図	有形文化財（美術工芸品（歴史資料））	未指定
弘化3年片柳新田字上河岸絵図	有形文化財（美術工芸品（歴史資料））	未指定
本陣跡石柱	有形文化財（美術工芸品（歴史資料））	未指定
とちぎの山車(劉備玄德、天照大神) とちぎの山車(関羽雲長、日本武尊) とちぎの山車(張飛翼徳、素盞鳴尊、太閤秀吉) とちぎの山車(神武天皇) とちぎの山車(静御前) とちぎの山車(桃太郎)	民俗文化財（有形の民俗文化財）	県指定
神明社の神輿及び祭礼用具一括 附 用具収納箱5合、古文書16点、棟札2枚、担ぎ棒3本	民俗文化財（有形の民俗文化財）	市指定
泉町の山車（諫鼓鶏）	民俗文化財（有形の民俗文化財）	市指定
倭町一丁目の獅子頭一対附尾一對	民俗文化財（有形の民俗文化財）	市指定
嘉右衛門町の山車（仁徳天皇）	民俗文化財（有形の民俗文化財）	市指定
大町の山車（弁慶）	民俗文化財（有形の民俗文化財）	市指定
庚申塔【嘉右衛門町】	民俗文化財（有形の民俗文化財）	未指定
馬力神【合戦場】	民俗文化財（有形の民俗文化財）	未指定
庚申塔【川連天満宮】	民俗文化財（有形の民俗文化財）	未指定
新の神田五段囃子	民俗文化財（無形の民俗文化財）	市指定
百八灯流し	民俗文化財（無形の民俗文化財）	市指定
富田節	民俗文化財（無形の民俗文化財）	市指定
宇都宮領境界標	記念物（遺跡）	市指定
木戸跡【室町】	記念物（遺跡）	未指定
北木戸跡【万町】	記念物（遺跡）	未指定
東木戸跡【旭町】	記念物（遺跡）	未指定
富田宿跡	記念物（遺跡）	未指定
栃木宿跡	記念物（遺跡）	未指定
合戦場宿跡	記念物（遺跡）	未指定
金崎宿跡	記念物（遺跡）	未指定
沼和田河岸跡	記念物（遺跡）	未指定
栃木河岸跡	記念物（遺跡）	未指定
平柳河岸跡	記念物（遺跡）	未指定
片柳河岸跡	記念物（遺跡）	未指定

「栃木市の宝」の名称	類型	指定等
新波河岸跡	記念物（遺跡）	未指定
部屋河岸跡	記念物（遺跡）	未指定
問屋跡【大平町】	記念物（遺跡）	未指定
日光例幣使道	記念物（遺跡）	未指定
高札場跡	記念物（遺跡）	未指定
本陣跡【倭町】	記念物（遺跡）	未指定
金崎宿本陣跡	記念物（遺跡）	未指定
本陣跡【都賀町】	記念物（遺跡）	未指定
小倉川の渡船場跡	記念物（遺跡）	未指定
栃木市嘉右衛門町	伝統的建造物群	国選定
追分【大町】	その他の文化財（史話・伝承、地名）	未指定

(2)課題

◇ 課題1 「栃木市の宝」である嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区を知る機会が必要である

嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区は、本市の歴史的な町並みを今に伝える「栃木市の宝」で、江戸時代以降の商業活動や暮らしの姿を理解する上で重要です。しかし、町並みが形成されてきた背景等について、市民や来訪者が十分に知る機会は限られています。

そのため、嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区を分かりやすく知る機会を充実させ、身近に感じてもらう必要があります。

◇ 課題2 日光例幣使道に関連する「栃木市の宝」を継承する体制を整える必要がある

日光例幣使道は、本市の町並み形成や商業の発展、文化の継承に大きな役割を果たしてきた歴史的な街道で、沿道の歴史的建造物、歴史資料、祭礼などは重要な「栃木市の宝」です。しかし、これら日光例幣使道に関連する「栃木市の宝」を将来にわたり適切に継承していくための体制が十分に整っていません。

そのため、日光例幣使道に関連する「栃木市の宝」を総合的に捉え、行政や市民、民間が連携して継承する体制を整える必要があります。

◇ 課題3 舟運と日光例幣使道に関連する「栃木市の宝」の保存・活用が不十分である

栃木宿がおかれていた日光例幣使道周辺は、歴史的建造物が集中していること、当時の道が現在も使われていることもあり、「栃木市の宝」を活用したまちづくりへの取り組みが以前から進められています。

一方、大平地域の富田宿跡、都賀地域の合戦場宿跡、西方地域の金崎宿跡は、当時の面影が少ないこともあり、保存・活用が十分とは言えません。

そのため、舟運と日光例幣使道に関連する「栃木市の宝」を総合的に捉え、まちづくりや観光振興につながる保存・活用を進める必要があります。

(3)方針

◇ 方針1 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区を知る機会を充実させる

嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区の町並みが形成されてきた背景や建造物の魅力等、市民や来訪者がより深く理解できるよう、知る機会を充実させます。分かりやすく伝える情報発信や学びの場を整えることで、地域への誇りの醸成や保存・活用の主体的な参画につなげます。

◇ 方針2 日光例幣使道に関連する「栃木市の宝」を継承する体制を整える

日光例幣使道に関連する建造物、町並み、歴史資料、祭礼などの「栃木市の宝」を将来にわたり適切に継承していくため、保存・活用を担う体制の整備を進めていきます。行政、市民、民間が役割を共有し、連携して取り組む仕組みを構築するとともに、担い手の育成や世代を超えた継承を支える環境づくりを進めます。

◇ 方針3 舟運と日光例幣使道に関連する「栃木市の宝」を一体として、保存・活用の取組みを進める

本市の特性を表す町並みである日光例幣使道沿いの4つの宿場跡は、近世における人や物、文化の往来を今に伝える貴重な「栃木市の宝」です。街道沿いに、町割りや街路、見世蔵、町家などの歴史的建造物をはじめ、祭礼や伝統行事など、街道とともに育まれた多様な歴史文化が残されています。

今後は、これら日光例幣使道沿いの宿場跡と、街道に関わる歴史的建造物、景観、民俗文化財などを個別の「栃木市の宝」としてではなく、一体的に捉え、保存・活用の取組みを進めます。街道を軸に点在する「栃木市の宝」の関連性を明らかにし、回遊性や物語性を高めることで、当時の宿場町の姿や役割を立体的に理解できる取組みを目指します。

これにより、地域の歴史文化への理解と誇りを深めるとともに、まちづくりや観光振興とも連動した持続可能な歴史文化の保存・活用を推進します。

(4)措置

◇ 方針1 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区を知る機会を充実させる

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028					後期 2029～2033				
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
1	嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区拠点施設「ガイダンスセンター」の活用 民間主体でガイダンスセンターを運営管理し、地域内外の人に伝建地区の歴史を知ってもらうと共に、ガイダンスセンターに集う人の交流を促す。	継続	行政（蔵の街課） 民間	継続									

◇ 方針2 日光例幣使道に関連する「栃木市の宝」を継承する体制を整える

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間										
				前期 2026～2028					後期 2029～2033					
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15			
2	子ども例幣使行列 栃木第三小学校第4学年のふるさと学習で、児童たちが例幣使に扮し道を練り歩く企画を実施する。児童たちが生まれ育ったふるさとの歴史を知ることによって愛着と誇りをもち、「栃木市の宝」を継承する心を育むことを目指す。	継続	行政（学校教育課） 民間	継続										

◇ 方針3 舟運と日光例幣使道に関連する「栃木市の宝」を一体として、保存・活用の取組みを進める

No	事業名 事業内容	新規 継続	事業主体	事業期間									
				前期 2026～2028				後期 2029～2033					
				R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
3	例幣使街道の振興行事補助金 民間が主体で企画・実施している日光例幣使道に関する行事の運営経費に補助を行い、民間による児童への歴史講和、子ども例幣使行列の協力や日光例幣使道に関する他地域との交流などによる PR を進め観光振興につなげる。	継続	行政（観光振興課）	継続									
4	日光例幣使道の歴史伝承活動 嘉右衛門町・大町の有志を中心に、子どもや地域住民へ日光例幣使道の歴史を伝承する活動や町並みの写真集発行などの企画をとおして、まちづくりを進める。さらに、日光例幣使道沿いの他地域との連携を図り、PR を進め観光振興につなげる。	継続	民間	継続									
5	日光例幣使道沿いの4つの宿を活用した観光ルートづくり（拡充） 日光例幣使道沿いの富田宿跡・栃木宿跡・合戦場宿跡・金崎宿跡と街道沿いに残るものや関係する「栃木市の宝」を一体として、来訪者が周遊できるモデルコースづくりなどの保存・活用の取組みを進める。	継続	行政（文化課、観光振興課） 民間	継続・拡充									



関連文化財群2 “川のみちと陸のみちにより生まれた歴史文化”

構成する「杢木市の宝」の位置図